



## 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社 コンセック

上場取引所 東

コード番号 9895 URL <http://www.consec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 多喜二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 浩一

TEL 082-277-5451

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円四捨五入)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,116	2.5	49		38		5	
2024年3月期中間期	4,991	10.1	56		24		94	

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 0百万円 ( %) 2024年3月期中間期 242百万円 (1,451.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.81	
2024年3月期中間期	52.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	12,070	8,209	66.3
2024年3月期	12,578	8,238	64.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 8,000百万円 2024年3月期 8,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		25.00	25.00
2025年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.0	150	224.0	200	73.3	180	14.4	100.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	1,864,011 株	2024年3月期	1,864,011 株
-------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2025年3月期中間期	57,222 株	2024年3月期	70,962 株
-------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	1,793,858 株	2024年3月期中間期	1,793,194 株
-------------	-------------	-------------	-------------

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、為替レートの円安基調から円高基調への転換や株価の歴史的な規模での変動など、金融市場は大きく揺れ動く状況となるなか、国内景気は観光産業や季節的需要などがけん引し、全体的にはやや改善傾向となりました。一方で、原材料価格や物流コストの上昇、人手不足や消費者の節約志向の高まりなど、マイナス材料は継続しており、拡大している国際的な緊張も含め、企業にとっては厳しい経営環境が続くものと予想しております。

このような環境のなか、切削機具事業においては、新製品の受注に注力し、特殊工事業においては、ダム、高速道路、橋梁等の公共インフラの整備等の大口案件の受注活動に注力してまいりました。その他事業においても今後の事業展開を見据えての営業活動の推進を行ってまいりました。各事業分野において、円安の影響、資源価格や原材料価格の高騰及び人材不足の影響を引き続き受ける状況となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は51億16百万円（前年同期比2.5%増）となりました。営業損失は49百万円（前年同期は営業損失56百万円）、経常損失は38百万円（前年同期は経常損失24百万円）となり、親会社株主に帰属する中間純損失は5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益94百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間の内部売上は含まれておりません。）

#### (切削機具事業)

切削機具およびダイヤモンド工具等の消耗品の受注が低調に推移したことにより、売上高は18億16百万円（前年同期比8.4%減）となりました。円安の影響、原材料費の高騰が続き製造原価の高止まりにより、営業利益は1億2百万円（前年同期比39.4%減）となりました。

#### (特殊工事業)

大型工事案件の受注もあり、売上高は7億87百万円（前年同期比17.4%増）となり、営業利益は12百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

#### (建設・生活関連品事業)

主要な顧客からの受注が順調に推移し、売上高は18億45百万円（前年同期比10.9%増）となりました。販売費及び一般管理費の低減にも努め、営業利益は54百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

#### (工場設備関連事業)

主要顧客からの大型受注が好調に推移し、売上高は4億94百万円（前年同期比25.3%増）となりました。原材料の高騰はあるものの、供給制約等が減少し、営業利益は20百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

#### (介護事業)

サービス付き高齢者住宅の利用者の減少もあり、売上高は1億73百万円（前年同期比2.7%減）となりました。原価並びに販売費及び一般管理費のコストが嵩み、営業損失は15百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から5億8百万円減少し120億70百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の減少2億68百万円、売上債権の減少3億35百万円などにより5億16百万円減少し55億52百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加19百万円などにより、8百万円増加し65億18百万円となりました。流動負債は、仕入債務の減少3億55百万円、短期借入金の減少18百万円、未払法人税等の減少26百万円、賞与引当金の減少7百万円などにより5億5百万円減少し27億65百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加70百万円などにより26百万円増加し10億95百万円となりました。なお、長期・短期借入金は51百万円増加し10億77百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純損失5百万円、配当金の支払45百万円により50百万円減少し8億7百万円となり、株主資本合計で76百万円減少し73億96百万円となりました。その他の包括利益累計額は4百万円減少し6億4百万円、非支配株主持分は51百万円増加し2億9百万円となり純資産は29百万円減少し82億9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,001,232	1,733,296
受取手形、売掛金及び契約資産	2,017,336	1,741,141
電子記録債権	271,231	212,722
商品及び製品	1,130,052	1,109,801
仕掛品	64,069	69,642
原材料及び貯蔵品	499,354	514,389
その他	90,601	175,652
貸倒引当金	△6,183	△4,640
流動資産合計	6,067,691	5,552,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,695,941	3,701,252
減価償却累計額	△2,842,274	△2,871,003
建物及び構築物(純額)	853,667	830,249
機械及び装置	646,550	681,231
減価償却累計額	△550,589	△586,510
機械及び装置(純額)	95,962	94,721
土地	3,480,785	3,480,785
その他	1,043,528	1,114,959
減価償却累計額	△932,689	△942,895
その他(純額)	110,839	172,064
有形固定資産合計	4,541,253	4,577,819
無形固定資産		
のれん	37,083	31,200
その他	50,331	49,823
無形固定資産合計	87,414	81,023
投資その他の資産		
投資有価証券	1,142,297	1,161,091
繰延税金資産	6,380	9,299
退職給付に係る資産	478,424	482,345
その他	265,247	217,543
貸倒引当金	△11,181	△11,185
投資その他の資産合計	1,881,166	1,859,093
固定資産合計	6,509,833	6,517,935
資産合計	12,577,525	12,069,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,101,517	858,197
電子記録債務	1,156,533	1,044,990
短期借入金	556,835	538,520
未払法人税等	74,517	48,838
賞与引当金	108,168	101,574
完成工事補償引当金	224	237
その他	272,340	172,987
流動負債合計	3,270,133	2,765,343
固定負債		
長期借入金	468,359	538,092
繰延税金負債	107,635	89,377
役員退職慰労引当金	158,113	164,691
退職給付に係る負債	285,608	272,904
その他	49,372	30,406
固定負債合計	1,069,088	1,095,471
負債合計	4,339,221	3,860,813
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	2,629,074	2,582,420
利益剰余金	856,707	806,846
自己株式	△103,372	△83,337
株主資本合計	7,472,679	7,396,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,405	195,601
為替換算調整勘定	193,420	267,255
退職給付に係る調整累計額	164,151	141,170
その他の包括利益累計額合計	607,976	604,025
非支配株主持分	157,649	208,901
純資産合計	8,238,304	8,209,125
負債純資産合計	12,577,525	12,069,938

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,990,549	5,115,605
売上原価	3,885,588	3,996,428
売上総利益	1,104,961	1,119,177
販売費及び一般管理費	1,161,043	1,168,017
営業損失(△)	△56,082	△48,839
営業外収益		
受取利息	702	1,009
受取配当金	18,079	16,720
受取手数料	2,947	2,358
受取家賃	6,408	6,922
その他	8,081	8,691
営業外収益合計	36,218	35,700
営業外費用		
支払利息	1,820	2,024
為替差損	1,115	20,932
その他	1,002	1,820
営業外費用合計	3,936	24,776
経常損失(△)	△23,800	△37,916
特別利益		
固定資産売却益	8	80
投資有価証券売却益	20,369	52,625
関係会社株式売却益	118,400	16,974
特別利益合計	138,777	69,679
特別損失		
固定資産除売却損	554	226
減損損失	23,928	—
投資有価証券評価損	—	64
特別損失合計	24,482	290
税金等調整前中間純利益	90,495	31,473
法人税、住民税及び事業税	26,150	36,662
法人税等調整額	△20,439	8,787
法人税等合計	5,711	45,449
中間純利益又は中間純損失(△)	84,784	△13,976
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△9,041	△8,941
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	93,825	△5,035

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	84,784	△13,976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,529	△54,317
為替換算調整勘定	42,432	90,886
退職給付に係る調整額	△7,983	△22,981
その他の包括利益合計	156,978	13,587
中間包括利益	241,762	△389
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	241,303	△8,986
非支配株主に係る中間包括利益	459	8,596



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	90,495	31,473
減価償却費	68,731	67,876
減損損失	23,928	—
のれん償却額	2,618	5,883
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,701	△652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,456	△5,907
受取利息及び受取配当金	△18,781	△17,728
支払利息	1,820	2,024
有形固定資産除売却損益 (△は益)	546	146
投資有価証券売却損益 (△は益)	△20,369	△52,625
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	64
関係会社株式売却損益 (△は益)	△118,400	△16,974
売上債権の増減額 (△は増加)	138,331	295,802
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,638	38,943
仕入債務の増減額 (△は減少)	84,220	△365,330
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,498	△37,993
その他	45,191	△106,542
小計	325,435	△161,541
利息及び配当金の受取額	18,779	17,722
利息の支払額	△1,880	△2,074
法人税等の支払額	△31,546	△55,195
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>310,789</b>	<b>△201,088</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△56,900	△53,850
定期預金の払戻による収入	9,600	4,200
有形固定資産の取得による支出	△52,301	△95,465
有形固定資産の売却による収入	45,726	80
有形固定資産の除却による支出	—	△226
無形固定資産の取得による支出	△25,211	△830
投資有価証券の取得による支出	△259,945	△213,190
投資有価証券の売却による収入	321,942	169,706
貸付金の回収による収入	50,000	50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△20,101	△2,919
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	17,908	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>30,719</b>	<b>△142,495</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	182,260	2,000
長期借入れによる収入	280,000	230,000
長期借入金の返済による支出	△255,134	△180,582
リース債務の返済による支出	△352	—
自己株式の取得による支出	△22	△122
配当金の支払額	△44,830	△44,826
非支配株主への配当金の支払額	△400	△842
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>161,521</b>	<b>5,628</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,363	20,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	506,392	△317,586
現金及び現金同等物の期首残高	1,254,229	1,869,640
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,760,621	1,552,053

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト						
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T関連事業	合 計
売上高							
外部顧客への売上高	1,983,624	670,879	1,664,139	394,225	178,213	99,469	4,990,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,204	—	17,918	25,363	—	3,619	56,104
計	1,992,829	670,879	1,682,058	419,587	178,213	103,087	5,046,653
セグメント利益 又は損失(△)	167,660	△5,818	48,908	△29,315	△6,922	△18,545	155,968

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	155,968
セグメント間取引消去	△3,832
全社費用(注)	△208,218
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△56,082

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	I T関連事業	合計
減損損失	—	—	23,928	—	—	—	23,928

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト					
	切削機具事業	特殊工事業	建設・生活 関連品事業	工場設備 関連事業	介護事業	合 計
売上高						
外部顧客への売上高	1,816,145	787,291	1,844,903	493,793	173,473	5,115,605
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,701	—	16,240	13,974	—	38,916
計	1,824,847	787,291	1,861,143	507,768	173,473	5,154,521
セグメント利益 又は損失(△)	101,589	12,492	54,156	20,355	△14,660	173,932

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において報告セグメントの「IT関連事業」に区分されておりました株式会社デンサンの全株式を売却し、連結の範囲から除外したことに伴い、当中間連結会計期間より「IT関連事業」の区分を廃止しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	173,932
セグメント間取引消去	△5,139
全社費用(注)	△217,632
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△48,839

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。